

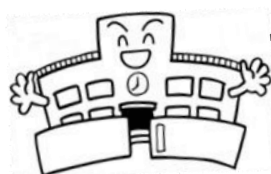
給食で食を考えましょう!!

学校給食週間について知ろう!

学校給食は、明治 22 (1889) 年、山形県^{つるおか}鶴岡町 (現在の^{つるおか}鶴岡市) の私立^{ちゅうあい}忠愛小学校で、お弁当を持参できない子どもたちのために、おにぎり・^{しおざけ}塩鮭・つけものなどを提供したことが始まりとされています。その後、全国に広がりましたが、昭和 16 (1941) 年ごろから戦争による食料の不足で、中断しました。

戦後、^{しょくりょう}食糧難により児童の栄養状態が悪化し、学校給食再開を求める国民の声が高まり、学校給食が再開されました。これを記念して 12 月 24 日が「学校給食感謝の日」と定められました。しかしこの日は冬季休業中のため一か月後の 1 月 24 日から 30 日を「全国学校給食週間」としました。

この機会に、学校給食の意義や役割、食べ物の大切さについて考えてみましょう。



大阪市の「給食の歴史」を見てみよう

昭和 24 年

大阪市の3つの
小学校で給食が始
まりました。



昭和25年

- コッペパン
- ミルク(脱脂粉乳)
- みそ汁

脱脂粉乳が
登場します。



※大阪市のすべての小学校で
給食が始まりました。

米飯給食が
月1回始まり
ました。



昭和56年

- カレーライス
- 牛乳
- ミニフィッシュ(袋入り)

正月の行事
献立です。



平成25年

- ちらしずし
- 牛乳
- ごまめ
- きさみのり
- ぞう煮



※平成 30 年から
牛乳はパック入り
になりました。

社会の変化とともに、みなさんの周りの環境も大きく変化しています。同じように給食も、時代背景や食生活の変化によって内容が変わってきています。

今では行事にちなんだ献立、諸外国の料理、旬の食品を使用した献立が登場しています。毎日の給食をこれからも楽しみにしてください。

